

■洪水ハザードマップ普及の事例

【事例1】洪水ハザードマップの各世帯への確実な配布の事例

- 【事例1-1】配布時の説明資料（静岡県静岡市）・・・ P.78
- 【事例1-2】配布時の説明資料（熊本県嘉島町）・・・ P.78
- 【事例1-3】配布時の説明資料（新潟県長岡市）・・・ P.79
- 【事例1-4】冊子とともに配布（愛知県豊田市）・・・ P.80

【事例2】洪水ハザードマップの提供を受けることができる状態の確立の事例

- 【事例2-1】洪水ハザードマップに簡単にアクセスできる事例
（静岡県静岡市）・・・ P.81
- 【事例2-2】緊急時に画面が変わる事例（神奈川県横浜市）・・・ P.81
- 【事例2-3】インターネットの利用による公開方法・・・ P.82
- 【事例2-4】JPEGを用いた事例（広島県広島市）・・・ P.83
- 【事例2-5】PDFを用いた事例（静岡県函南町）・・・ P.84
- 【事例2-6】ZOOMAを用いた事例（静岡県静岡市）・・・ P.85
- 【事例2-7】地理情報ソフトウェア（Web GIS）を用いた事例
（岩手県盛岡市）・・・ P.86
- 【事例2-8】駅に掲示した事例（岐阜県岐阜市）・・・ P.87
- 【事例2-9】商店に設置した事例（岐阜県美濃加茂市）・・・ P.87
- 【事例2-10】電話帳に掲載した事例（岩手県水沢市）・・・ P.88
- 【事例2-11】新聞、テレビによる広報の事例（山形県山形市）・・・ P.88
- 【事例2-12】広報誌に掲載した事例（山梨県市川三郷町）・・・ P.89
- 【事例2-13】イベントでの公開の事例（山形県山形市）・・・ P.90
- 【事例2-14】市職員を対象にした説明会開催の事例（山形県山形市）・・・ P.91
- 【事例2-15】自治体の出前講座の事例（三重県四日市市）・・・ P.92
- 【事例2-16】国土交通省の出前講座の事例・・・ P.93
- 【事例2-17】ラジオによる広報の事例（山形県山形市）・・・ P.94
- 【事例2-18】ラジオによる広報の事例（三重県四日市市）・・・ P.94

【事例3】洪水ハザードマップの理解を深める取組みの事例

- 【事例3-1】防災訓練での活用事例（山梨県市川三郷町）・・・P.95
- 【事例3-2】防災訓練での活用事例（岩手県水沢市）・・・P.98
- 【事例3-3】学校教育での活用事例（熊本県嘉島町）・・・P.102
- 【事例3-4】学校教育での活用事例（福島県郡山市）・・・P.106
- 【事例3-5】学校教育での活用事例（三重県四日市市の事例）・・・P.109
- 【事例3-6】洪水痕跡を保存した事例（ドイツ、バッサウ市）・・・P.112
- 【事例3-7】洪水痕跡を保存した事例（香川県高松市）・・・P.112
- 【事例3-8】洪水痕跡を保存した事例（徳島県徳島市）・・・P.113
- 【事例3-9】地域に残る洪水の教訓を活かした事例（徳島県徳島市）・・・P.113
- 【事例3-10】洪水痕跡を保存する取組の事例（岡山県岡山市）・・・P.114
- 【事例3-11】碑を設置した事例（埼玉県熊谷市、大利根町）・・・P.115
- 【事例3-12】街頭での水位情報の提供事例（東京都江東区、埼玉県久喜市）・・・P.116

【事例4】洪水ハザードマップ普及の3つの柱を実践した事例（山形県山形市）・・・P.117

【事例 1-1】配布時の説明資料

(静岡県 静岡市)

お知らせ

静岡市洪水避難地図【洪水ハザードマップ】
の配布について

このたび、市民のみならず大雨時の避難場所や避難に関して必要な情報を掲載した地図を配布することとなりました。

日ごろから目の届くところに置き、家族で、災害時の避難場所、連絡先、心得などについての話し合いに活用してください。

また、大雨による危険を感じたら、自主的に早めの避難を心がけましょう。

(注意していただくこと)

- ・この地図は、安倍川と巴川が大雨により堤防が壊れたときの浸水予想の結果にもとづいて作成しております。
- ・浸水予想は想定によるものであり、実際には図面に示した範囲がすべて同時に浸水することはありません。

安全な避難路の確認を



避難場所までの経路（避難路）は、あらゆる状況で安全に通行できるかを確認しておきましょう。

問い合わせ先 静岡市役所
建設部河川課計画担当
〒420-8602 静岡市追手町5番1号
TEL 054-221-1087
E-mail: kasen@city.shizuoka.shizuoka.jp

実施時期：公表後一時的に実施

実施対象者：浸水想定区域内各世帯を対象

静岡市では、洪水ハザードマップは、広報誌とともに配布している。配布時には、マップに関する説明は行っていないため、「お知らせ」を添付している。洪水ハザードマップの配布に先立ち回覧板、広報誌、町内役員説明会の開催等により洪水ハザードマップを配布することを住民に周知している。

【事例 1-2】配布時の説明資料

(熊本県 嘉島町)

洪水ハザードマップについて

加勢川の堤防もほぼ出来上がり水害常習地帯からの脱却期近であります。しかし、近年の局地的集中豪雨による洪水被害は毎年どこかで起こっています。そこで嘉島町では、洪水ハザードマップ（洪水避難地図）を作成しました。洪水ハザードマップとは、水害時における人的被害を防ぐことを主な目的として作成する地図で、浸水が想定される区域から市民の安全な避難に必要な各種の情報を記載しています。

地図を基に、もしもの時の避難に役立て下さい。この地図は、150年に一度おこると予想される洪水を想定したものです。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

地図が届いたら・・・

- ① わが家の非常対策へ必要事項を記載しましょう。
- ② 嘉島町洪水避難地図を基に、わが家がどこに位置し、浸水の状況はどうか確認しましょう。
- ③ 浸水の状況を確認したら、避難施設がどこにあるか確認しましょう。
- ④ 避難施設までの道順をマップに記載しておきましょう。
- ⑤ 目の届く箇所に置いておきましょう。



【お問い合わせ】
嘉島町役場 建設課
237-1111

実施時期：公表後一時的に実施

実施対象者：自治体内各世帯を対象

嘉島町は、町内会を通じて洪水ハザードマップを配布している。配布に先立ち、町内会長に洪水ハザードマップに関する説明会を開催している。住民への配布時には、各世帯を訪問し、説明するとともに資料も添付している。また、配布に当たっては町内会未加入者もいるため、全世帯を訪問して配布した。

【事例 1-3】配布時の説明資料

(新潟県 長岡市)

1 長岡市洪水避難地図(ハザードマップ)とは...

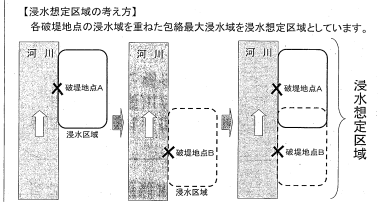
- 市内を流れる信濃川や支川の太田川、柿川、稲葉川が大雨によって万が一はらんした場合は想定して
- ↓
- その場合の浸水状況と避難方法等の対策に係わる情報をわかりやすく地図上に表示したものです。

実施時期：通年実施
実施対象者：対象者を限定せず

長岡市では、洪水ハザードマップとともに住民の理解を深めるため説明資料を配布している。配布資料では、洪水ハザードマップについて、浸水想定区域の設定方法、避難の必要な箇所を説明している。

2 浸水想定区域の設定方法

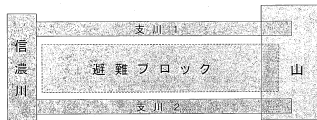
- ・浸水想定区域及び浸水深は、河川管理者である国及び県が浸水シミュレーションに基づき公表及び作成したものを掲載しております。



3 避難の行動範囲の考え方

- ・原則として、信濃川や支川に架かる橋は渡らないものとし、河川で区切られた避難ブロック内を避難する際の行動範囲としました。

河川で囲まれた範囲を避難ブロックとする。



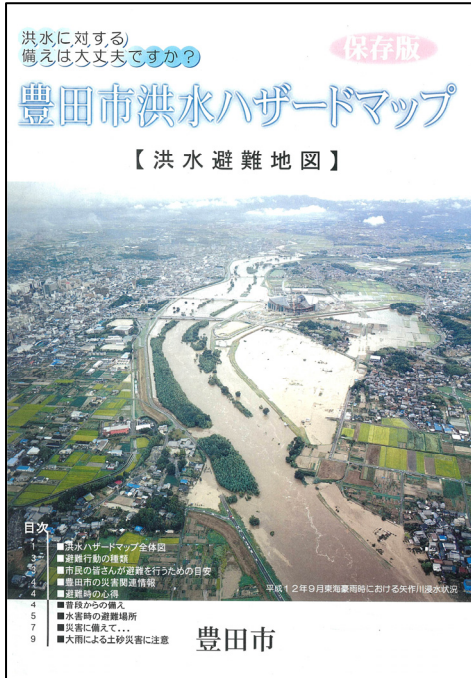
表面について...



信濃川の浸水想定区域の表示に、信濃川及び信濃川の支川で囲まれた地域をA～Hの避難ブロックに分割してあります。

【事例 1-4】冊子とともに配布

(愛知県 豊田市)

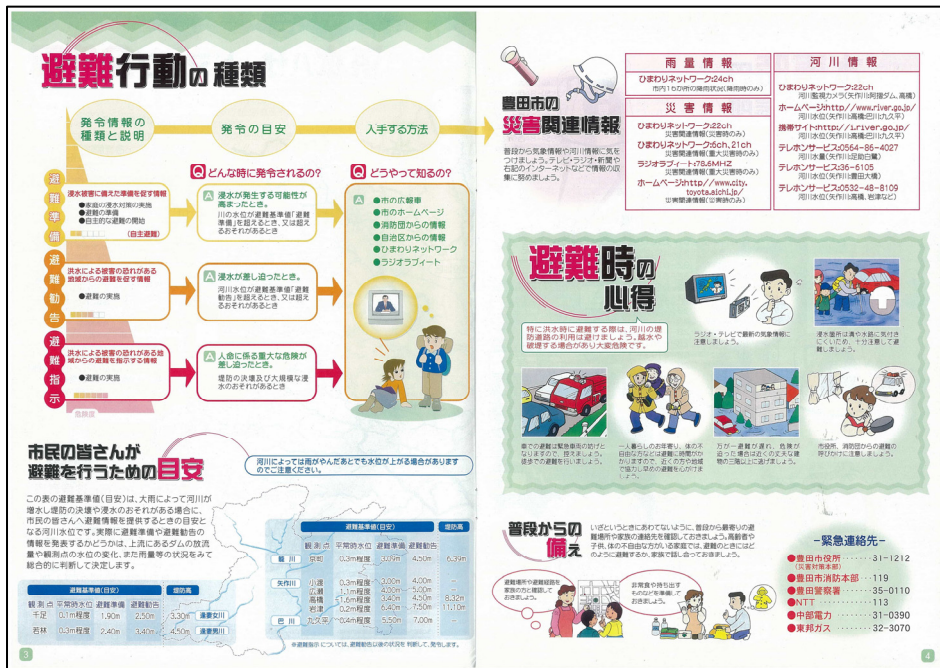


実施時期：通年実施
実施対象者：自治体内各世帯を対象

豊田市では、印刷物では情報掲載量に限りがあること、また、住民がA1サイズのマップを自宅に貼るのは困難であるとの判断から、冊子+マップ形式を採用し、旧豊田市内の各世帯に配布と窓口での配布を合わせて行っている。

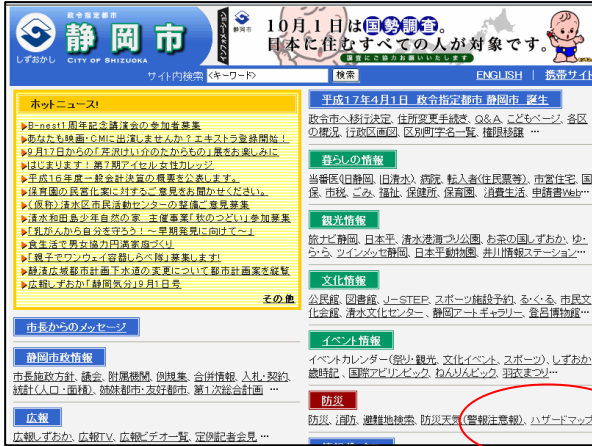
洪水ハザードマップへは、避難場所等、必要最小限の情報を記載にとどめ、様々な情報は冊子に詳細に記載している。

また、冊子が洪水ハザードマップの説明資料の役割を果たしている。



【事例 2-1】簡単にアクセスできる事例

(静岡県 静岡市)



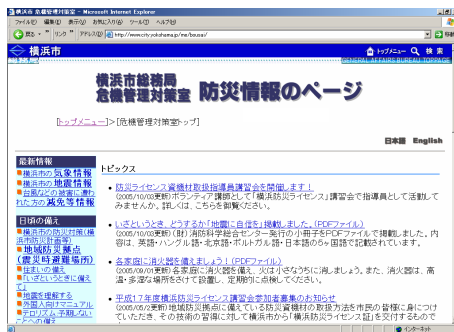
実施時期：通年実施
実施対象者：対象者を限定せず

静岡市ではホームページのトップ画面から洪水ハザードマップにアクセスすることが可能である。

(出典：静岡市 <http://www.city.shizuoka.jp/bosai/hazardmap/>)

【事例 2-2】緊急時に画面が変わる事例

(神奈川県 横浜市)



通常時画面



災害時画面

(出典：横浜市 <http://www.city.yokohama.jp/me/bousai/>)

実施時期：災害時に一時的(緊急的)に実施
実施対象者：対象者を限定せず

横浜市では市のホームページトップ画面から危機管理対策室のページにアクセスすることができる。平常時には、危機管理対策室を紹介する画面が表示されるが、災害発生時には、避難情報（避難勧告・避難指示等）に関する画面が表示される。

【事例 2-3】インターネットの利用による公開方法

インターネットによる洪水ハザードマップの公開には下表のような方法がある。これらの方法の採用に当たっては、それぞれの特徴を踏まえた上で、市町村や地域住民のインターネット利用に関する状況に配慮しながら最も適切な方法を採用することが大切である。

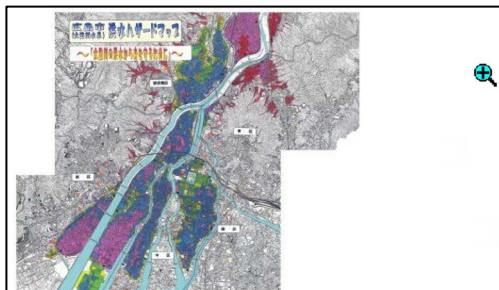
インターネット利用による洪水ハザードマップの公開をスムーズに実施するには、国及び都道府県から提供される電子化された浸水想定区域図を利用して洪水ハザードマップを作成し、その結果を電子データとして保存しておくことが効率的である。

また、地理情報ソフトウェア（Web GIS）により洪水ハザードマップを提供する場合は、洪水ハザードマップを地理情報システム（GIS）により作成した方が効率的である。

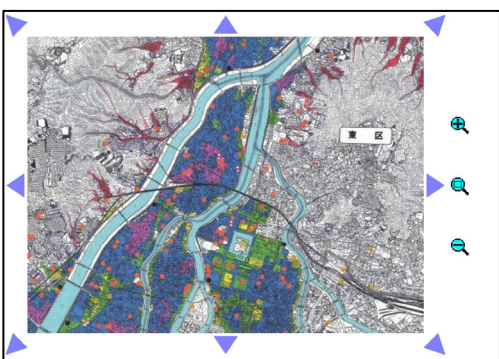
方法		利用者から見た特徴（操作性）			情報提供者から見た特徴		
		ソフトの組み込み	表示に必要な時間	地図の拡大縮小	ソフトの使用料	送信機器への負荷	導入にあたっての留意点
① 閲覧ソフトが不要な方法（JPEG等の画像データを用いる）		不要	高解像度の場合は、表示に時間が掛かる	困難	無	データを一括送信するため小さい。	地図を分割して提供し迅速に詳細な地図を閲覧できるようにするなどの工夫が望ましい。
特定の閲覧ソフトが必要な方法	② 標準的な閲覧ソフト（PDF等）を用いる方法	必要	高解像度の場合は、表示に時間が掛かる。	やや容易	無	データを一括送信するため小さい。	地図を分割して提供し迅速に詳細な地図を閲覧できるようにするなどの工夫が望ましい。
	③ 高機能な閲覧ソフト（ZOOMA等）を用いる方法	必要	高解像度であっても、表示までの時間は短い。	容易	ソフト使用料がかかる場合がある。	データを逐次送信するためやや大きい。	町名等による検索機能を追加するなどの配慮が望ましい。
④ 地理情報ソフト（Web GIS）を用いる方法		必要	高解像度であっても、表示までの時間は比較的短い	容易	ソフト使用料がかかる場合がある。	データを逐次、作成、送信するため大きい。	地名検索や属性情報の提供などの機能を活かし、避難場所等の詳細な情報を提供することが望ましい。

【事例 2-4】 JPEG を用いた事例

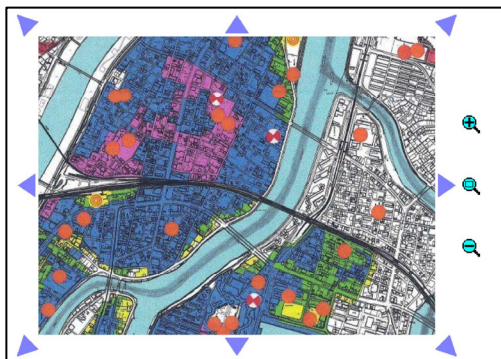
(広島県 広島市)



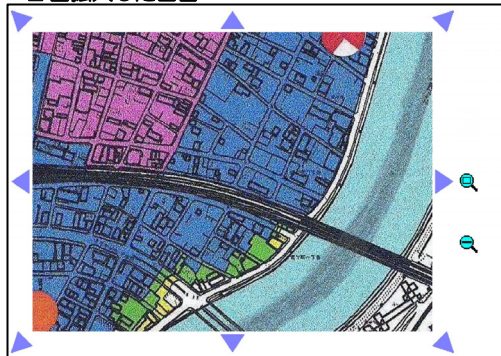
全体表示画面



1回拡大した画面



2回拡大した画面

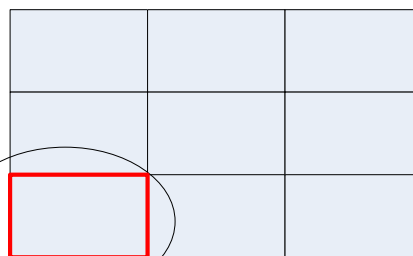


3回拡大した画面

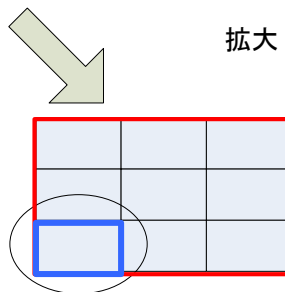
実施時期：通年実施
実施対象者：対象者を限定せず

広島市では、JPEG 形式の画像データにより公開している。

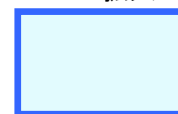
JPEG 形式では拡大すると画像が不鮮明となることから、3段階拡大できるように画像データを用意して、拡大しても避難場所や道路等が判読できるように工夫している。



拡大



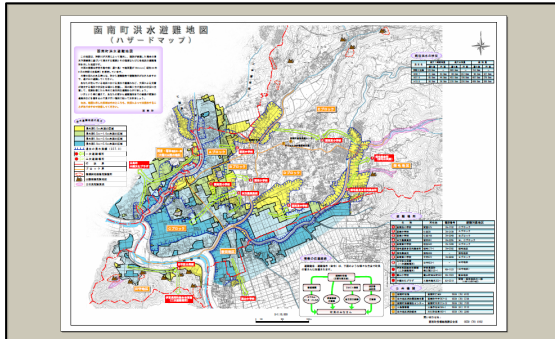
拡大



(出典：広島市 <http://www.city.hiroshima.jp/shobou/m4/kozuimap/kozuimapdownload.html>)

【事例 2-5】PDF を用いた事例

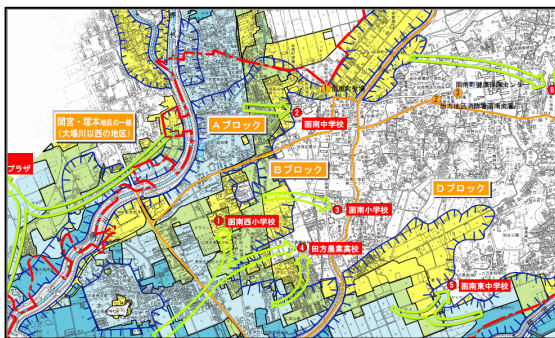
(静岡県 函南町)



全体表示画面

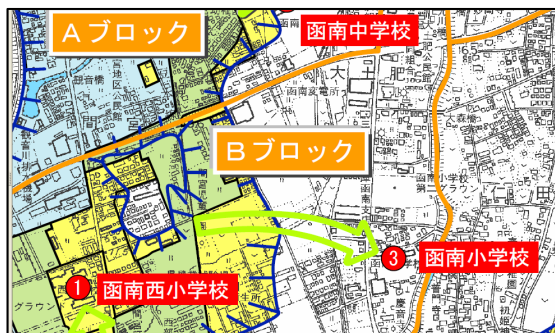
実施時期：通年実施
実施対象者：対象者を限定せず

函南町では洪水ハザードマップ公表後、早急にホームページ上で公開する必要があったため、電子データ化が容易なこと、また、画面の拡大縮小がスムーズに行えることや印刷設定が容易な閲覧ソフトウェアを採用している。



100%拡大画面

画面の移動は連続的にスムーズに行うことができる。



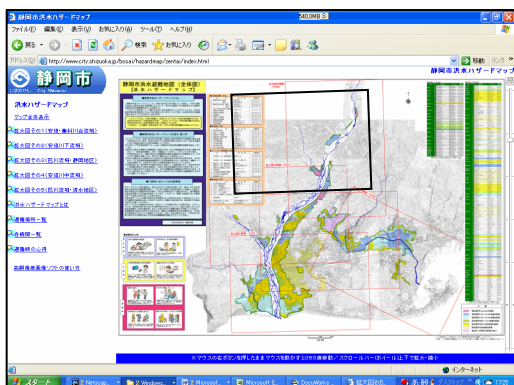
400%拡大画面

400%程度拡大しても避難場所や避難経路等の重要情報は明瞭に判読可能である。

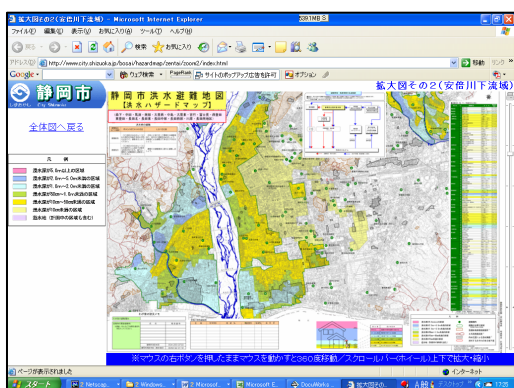
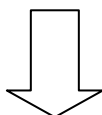
(出典：沼津河川国道事務所 <http://www.nwo.go.jp/kouzui/pdf/kannami-map.pdf>)

【事例 2-6】 ZOOMA を用いた事例

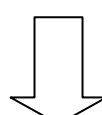
(静岡県 静岡市)



(トップ画面)



(地区画面)



(任意点を拡大)

(出典：静岡市 <http://www.city.shizuoka.jp/bosai/hazardmap/>)

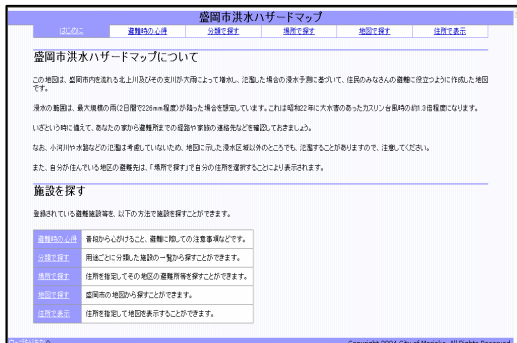
実施時期：通年実施
実施対象者：対象者を限定せず

静岡市では当初、閲覧用ソフトウェアによる公開を考えていた。
しかし、拡大時にも避難場所や避難経路等の重要情報が判読可能な解像度にするには洪水ハザードマップにアクセスしてから表示されるまでに時間がかかり実用的ではないため、高解像度閲覧ソフトウェアを採用した。

トップ画面で閲覧したい地区を選択。

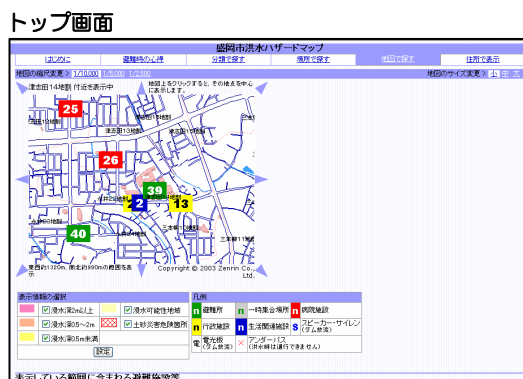
地区選択画面の任意地点を拡大。
拡大・縮小、画面移動等の操作性は良好である。
なお、画面右上にプリンターマークをクリックすると印刷できるなどの配慮がなされている。

【事例 2-7】地理情報ソフトウェア（Web GIS）を用いた事例
（岩手県盛岡市）



実施時期：通年実施
実施対象者：対象者を限定せず

盛岡市では、避難場所等の情報を適切に提供するため、各種情報がわかりやすく提供できる地理情報システム（GIS）を採用している。



トップ画面では、以下の検索メニューが用意されていて、クリックするとその付近の地図が表示される。地図の縮尺は、1/10,000、1/5,000、1/2,500 の3種類が用意されている。

メニューの「地図から探す」縮尺 1/10,000 の画面



【分類から探す】
避難場所、一時集合場所、病院施設、行政施設、生活関連情報（電気、ガス、水道）が検索できる。

メニューの「地図から探す」縮尺 1/5,000 の画面



【場所です探す】
住所を指定してその地区の避難所等を探ることができる。

【地図です探す】
地図を表示する領域を選択すると当該地区の地図が表示される。（左図 上段参照）

メニューの「地図から探す」縮尺 1/2,500 の画面

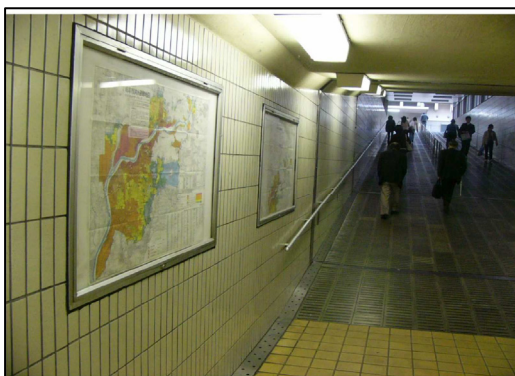
【住所等で表示】
住所内（大字内、または町内）にある施設が検索できる。大字名または町名をクリックすれば、その町にある施設の一覧が表示される。

（出典：盛岡市 <http://gissv.city.morioka.iwate.jp/Map/bfStatic.ASP?env=FloodAbout>）

【事例 2-8】 駅に掲示した事例

(岐阜県 岐阜市)

実施時期：通年実施
実施対象者：対象者を限定せず



(出典：岐阜市)

岐阜市では日常的に人通りが多く、かつ、水害時に危険な場所となる駅前の地下通路に洪水ハザードマップを通年掲示して、危険性を周知している。
洪水ハザードマップを掲示していることを新聞で住民等に広報している。岐阜市では、洪水ハザードマップを各戸配布している。

【事例 2-9】 商店に設置した事例

(岐阜県 美濃加茂市)

実施時期：通年実施
実施対象者：対象者を限定せず

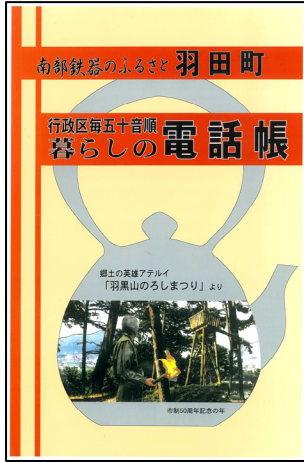


(出典：美濃加茂市)

美濃加茂市では支所 8 箇所、スーパーマーケット 7 箇所、コンビニエンスストア 1 箇所に洪水ハザードマップを設置している。
町内会を通じて洪水ハザードマップを各戸配布している。
様々な施設への洪水ハザードマップの設置は、町内会未加入者への対応の意味もある。

【事例 2-10】電話帳に掲載した事例

(岩手県 水沢市)



●あなたの地区の避難場所を確かめましょう

行 政 区 画 名	期 間	行 政 区 画 名	電話番号
羽田町	24～7/20	宮古市	22-7000
水沢市	22-7000	滝沢市	22-7000
大沢町	22-7000	大沢町	22-7000

●万一逃げ遅れた場合は、近くの高台や丈夫な建物の屋上などの安全な場所に移動し、救助を待ちましよう。

●あなたの地区の避難経路や避難場所などいざと言う時の為に、是非地域振興会や自治会等で地域防災組織をみんなで話合せて非常時の確認をしておきましょう。

●行政機関

行政機関	電話番号	行政機関	電話番号
水沢市役所	22-7000	岩手県水沢事務所	22-2881
水沢市消防団	22-7000	水沢市消防団	22-7000
水沢市警察	22-7000	水沢市警察	22-7000
水沢市消防団	22-7000	水沢市消防団	22-7000

●家族みんなで確認しておきましょう

家族名	住所	性別	年齢	避難場所

実施時期：公表後一時的に実施
実施対象者：町内の各世帯を対象

水沢市羽田町では、“水沢市洪水ハザードマップ”をもとに、地域振興会が中心となって“羽田町洪水避難地図”を作成し、町民等に配布している。
また、住民への洪水ハザードマップを普及させるため、地域で利用頻度の高い「暮らしの電話帳」に洪水ハザードマップを掲載している。

(出典：羽田町地域振興)

【事例 2-11】新聞、テレビによる広報の事例

(山形県 山形市)

平成16年3月20日(土) 山形新聞

山形市洪水避難地図

山形市原案まとめ報告書

山形市が作成を進めていた洪水ハザードマップ(避難地図)検討委員会(委員長 市原まこと)が、19日(土)同市で、検討結果を各地区ごとに報告した。

市原委員長は、基に避難地図を作成するにあたり、市原まこと市長に報告書を出し、六月まで市内の全戸九万四千世帯に配布する予定と述べた。

報告書には、五ヶ所(五ヶ所)の洪水ハザードマップ(避難地図)を作成し、市原まこと市長に報告書を出し、六月まで市内の全戸九万四千世帯に配布する予定と述べた。

報告書には、五ヶ所(五ヶ所)の洪水ハザードマップ(避難地図)を作成し、市原まこと市長に報告書を出し、六月まで市内の全戸九万四千世帯に配布する予定と述べた。

実施時期：公表後一時的に実施
実施対象者：対象者を限定せず

“テレビのニュースでも報道された”

4 30 ビヨ初4:30 教科書にも登場・フメチキリの魅力▽新潟、阿賀野川でキツネになる▽商店街の迷惑者 3374755

5.50 アラスカ1 ピカピカのランドセル背負い入学式▽警の野郎連行▽夏スキーオープンへ準備進む 1347674

4 50 情報ディー 691755

55 ホームワーク(術) 『悲しくなんかない』 1316262

5 5.50 ニュースの森 たった1人の入学式▽花粉症傾向と対策▽市民オンブスマンが監査委員の報告公開請求 3344194

6 6.55 プロ野球→ゴヤド

山形市は、洪水ハザードマップの公表時に報道機関(新聞社やテレビ局等)に連絡し、記事として掲載してもらったり番組で報道してもらっている。

(出典：山形新聞)

【事例2-12】広報誌に掲載した事例

(山梨県 市川三郷町)

実施時期：公表後一時的に実施
実施対象者：自治体内各世帯を対象

旧六郷町（現市川三郷町）では、洪水ハザードマップを公開した翌月の広報誌に洪水ハザードマップを公表している記事を掲載した。洪水ハザードマップは、A1サイズである。広報誌へはA4に折りたたんだ状態の写真を掲載している。

広報ろくごう
平成16年9月号

合併住民説明会

平成17年の秋の合併に向け、様々な準備、調整等が進み、「新しいまちの将来構想」が作成されました。そこで、現在の状況、新町将来構想の説明を住民の皆さまにお伝えするため、三珠町・市川大門町・六郷町の合併協議会に関する住民説明会を実施いたします。多くの皆様方のご出席をお願致します。

●お配りしました「新しいまちの将来構想」を参観してください。

連絡先 六郷町役場
総務課総務係
(TEL 32-2111)

8月12日(木)第2回三珠町・市川大門町・六郷町合併協議会が、市川大門町役場大会議室で開催されました。

会議では合併の重要項目でもある「新町将来構想」・「新町名称等」について協議が行われました。新町の名称については、新町名称候補選定小委員会を設置

することが決定されました。また、住民説明会を実施し、その中で合併協議の状況の説明、新町の将来構想の周知を図り、合併に対する地域住民の意見や要望をきき細かく把握し、今後の合併協議や新町建設計画に反映していくことが確認されました。

合併住民説明会を実施!

開催場所	開催日時	対象地区
落3 4 居 居 落 民 区 館 3 公 民 館	9月13日 (月)	午後 7:30分 落 居 全 域
宮 原 公 民 館	9月15日 (水)	午後 7:30分 葛 籠 沢 宮 河 頭 原
岩 間 細 田 公 民 館	9月16日 (木)	午後 7:30分 楠 間 甫 岩 下 河 田 原
岩 間 下 町 公 民 館	9月27日 (月)	午後 7:30分 鴨 狩 向 岩 岩 間 津 上 上 下 町
町 民 会 館	9月30日 (木)	午後 7:30分 岩 間 原 上 上 下 町

※対象地区以外でも都合の良い会場に出席してください。

7月の新潟・福井の豪雨では、床上浸水一三、〇〇件、床下浸水一六、〇〇〇件と多大な被害が出てしまいました。

まず、我が町にこの豪雨が来たらと想像して下さい。果たしてこの豪雨の中で的確に避難出来るでしょうか？大半の人はパニックを起こし、スムーズに出来ないのではないのでしょうか。

そんな時このハザードマップを活用しましょう。すでに各世帯に届いているかと思いますが、この機会に、一度開いてみて下さい。こんななりっこないよ、こんな浸水しないよが「まさかこんなことになる」とは、ことなぬようまず、度見てください。

また、洪水時と、地震時では避難場所が違ってきます。地震は耐震性のある建物へ避難、洪水は水のつかない場所へ避難となります。

ぜひ、このハザードマップを玄関など目につく所に置き、時々見るよう心がけて下さい。

富士川洪水ハザードマップで避難場所をチェックしよう!

9月5日(日)は防災訓練です。今回は、東海地震注意情報が開始されてから最初の防災訓練となります。

各防災会においても東海地震を想定として様々な訓練を行います。また、消火器、消火栓の使い方、避難用品の確認等毎年行う訓練も重要ですので、年に一度だけはしっかり訓練しましょう。また、家族の中でも防災について話し合しましょう。

各課からのお知らせ

総務

みんなて 防災訓練

9月5日(日)は防災訓練です。今回は、東海地震注意情報が開始されてから最初の防災訓練となります。

富士川洪水ハザードマップ

六郷町富士川洪水ハザードマップ

(出典：市川三郷町)

【事例 2-13】 イベントでの公開の事例

(山形県 山形市)



(出典：山形市)



(出典：山形市)

実施時期：防災の日に一時的に実施
実施対象者：対象者を限定せず

山形市では、防災等に関する企業イベントに積極的に協力している。

平成 16 年 9 月 1 日の防災の日に合わせて開催された、市内のデパート主催の防災フェアに洪水ハザードマップの拡大パネル等を貸し出している。

より多くの人に洪水ハザードマップの存在を知ってもらい、理解してもらうための PR になっている。

【事例 2-14】市職員を対象にした説明会開催の事例

(山形県 山形市)

実施時期：公表後一時的に実施

実施対象者：自治体職員を対象



庁内説明会の状況（各課の代表者約100人が参加した）

重要性理解職員から
洪水避難地図の説明会
山形市

山形市が作成した洪水避難地図を六月から市内全戸に配布するのを前に、市職員への説明会が十三日、市役所で開かれた。一万一の場合には、市職員全員が担当者と職員に内容の周知を徹底させるのが目的で、全課から代表者計百二十人が出席し、避難地図の重要性などを学んだ。

説明会は、「市民に自分たちの命を守る避難地図の重要性を認識してもらうには、まず市職員が勉強しなければならぬ」と、市川昭男市長自らが発表した。

周辺を中心とした危険箇所や、過去の浸水地域が、既に避難地図を声配布している郡山市では、実際の洪水時に地図を見ていた人は、見ている人に見比べて避難時間が一時間も早かったという事例も報告され、活用してもらわなければならない、と強調した。

市職員の配布は六月中旬からで、下旬から各地で説明会を開催する。

安全な避難経路などを解説。既に避難地図を声配布している郡山市では、実際の洪水時に地図を見ていた人は、見ている人に見比べて避難時間が一時間も早かったという事例も報告され、活用してもらわなければならない、と強調した。

市職員の配布は六月中旬からで、下旬から各地で説明会を開催する。

平成16年5月14日(金) 山形新聞

山形市では洪水ハザードマップを住民に理解、活用してもらうためにはまず市職員が理解しなくてはならないという趣旨から、市職員を対象にした全庁説明会を実施している。

「万が一の場合は、市職員全員が防災担当者である。」という観点から、職員から内容について理解してもらうことを目的に河川課が主体となった説明会を開催している。職員からの質問は、「洪水ハザードマップを全戸配布することの必要性」、「災害が少ないといわれている山形市で、本当に洪水が起こりえるのか」、「改訂版の作成時期」、「浄水場に対する防御対策の法的支援措置」など行政事務従事者ならではのものが多く、内容も濃いものであった。

また、報道機関に市職員を対象とした説明会を実施することを連絡し、新聞やテレビ番組で取り上げてもらい、住民に対して市の取組みを広報している。

“テレビニュースでの報道”

木曜日	テレビ	山形	新	山形
TUYテレビ	SAYテレビ	NHK総合	NT	
山形36ch 朝日28ch 新庄28ch 米沢28ch	山形39ch 朝日24ch 新庄28ch 米沢28ch	山形8ch 朝日8ch 新庄8ch 米沢8ch	山形新庄	
4.50 4.50 アニエル・マスターズ(スズメ) 1141665	「父・衝撃の再会」香取慎吾 松岡亮 加藤浩次。 84662400	平 実況・大田雅英 岩佐英治～岡国国技館 (中継) 04.02～05. 5.00～03) 78228329	ヤン からの 懐ひ タマイン	
5.20 5.20 ロック 7825888	5.54 SAYスーパー	00 00 10ニュースワイド	00 おじ	
5.50 ニュースの森 サクランボなど盗難防止へ電波利用支援システム開発へ	農作物盗難防止へ対策▽園児たちが防犯訓練▽元氣大園遊・プロ野球審判員。 71288597	▽洪水その市の職員は？マシリース職人の町白旗▽ 6818861	10 10 20 20 天で	
5.58 5.58 第55回バスバ人開学式			参加	

平成16年5月13日(木) TUYテレビ、NHK総合

(出典：山形新聞)

【事例 2-15】自治体の出前講座の事例

(三重県 四日市市)



出前講座実施要綱

出前講座メニュー表

出前講座申込書

WORD PDF GIE

実施時期：通年実施
実施対象者：対象者を限定せず

★ 四日市市生涯学習いきいき出前講座とは ★

行政全般にわたるメニューの中から、市民の皆さんが聞いてみたい講座をリクエストしていただき、指定された日時(市の休日を除く)・場所・担当課の職員が出向いて情報を提供する制度です。気軽に身近な場所でホットな行政情報をお届けし、市民の皆さんの生涯学習を通じた「まちづくり」「なかまづくり」を支援しようとするものです。

- **申し込みできる人**
市内に在住、在勤又は在学者の10人以上で構成されたグループです。(政治、宗教、富利、要望を目的とした催しには講師の派遣はできません。)
- **講座の内容**
以下の「四日市市生涯学習いきいき出前講座メニュー表」からお選びください。
- **講師料**
講師料は無料です(ただし、講座によっては材料費等の実費が必要な場合があります)
- **開催時間**
開催時間は、市の休日を除く午前9時から午後9時までの間で1講座2時間以内、1グループにつき1日1講座までです。
- **おながい**
この講座は、市民の皆さんが主催する催しに、市の担当職員などを講師として派遣するものです。講座に関する質疑や意見交換を含みますが、個別相談等をおこなったり、もっぱら西情や要望をお聞きする場ではありませんので、ご理解ください。また、会場の手配や準備等を含むすべての運営は主催者側でお願いします。(会場は市内に限ります。) 講座によっては実技をともなうものがあります。体調、けが等には十分ご注意の上、各自の責任においてご参加ください。なお、メニューによっては内容変更・廃止等になる場合があります。 次回のメニュー更新は18年6月を予定しております。
- **申し込み方法** (各講座担当課へ直接お申し込みください)
講座を開催しようとする日の21日前までに、申し込みは電話及び申込書で各講座担当課に申し込んでください。申込書は各講座担当課、市民文化課、各地区市民センター、権合支所振興課に置いてあるほか、このページ上の申込書(WORD・PDF・GIF)をダウンロードし利用することもできます。 なお、担当課の業務の都合で開催日時等の希望に添えない場合がありますので予めご了承ください。 また、時間については、目安として申し込み時に、講演時間の確認を行ってください。
※お問い合わせ 各地区市民センター 及び 権合支所 振興課
四日市市 市民文化課生涯学習係 TEL:54-8239
FAX:54-8316
- 他の公的団体が実施する出前講座をご紹介します。
・三重県庁 広報広聴チーム
TEL:54-8238
「みえ出前講座」
・国土交通省中部地方整備局
TEL:0593-63-5511(北勢国道事務所)
TEL:052-953-8515(本局総務課)
「出前講座たぐいまれな派遣中」
・東海農政局三重農政事務所 地域第一課
TEL:0593-53-4671(緑の森1-10-2)
「出前講座」
・四日市次字 「出張講座」
TEL:0593-65-6588

四日市市では、ホームページ上で、出前講座の紹介を行っている。
四日市市では、申込者を市内在住・在勤・在学者に限っており、10人以上参加者が見込める場合に前出講座が行われる。
開催時間は、市の休日を除く、午前9時から午後9時までの12時間に限っている。

四日市市ホームページ 出前講座トップページ

分類	番号	講座名	時間(分)	担当課	担当課の場所	TEL	受託条件・準備物等		
防災救急	1	地震最前線	90	防災対策課	本庁舎8F北	54-8119	パソコン・プロジェクターのための電源必要		
	2	災害からいのちを守るために	90						
	3	自主防災組織について～災害から命を守るために(自分たちのまちは、自分たちで守る)	90						
	4	安心なブロック塀をめざして	60						
まちづくり	5	バリアフリーで暮らしやすい「すまい」づくり	60	建築開発課	本庁舎4F	54-8206	4・8・9・3月以外 プロジェクター、ビデオ		
	6	家を建てるときのきまりごと	30	都市計画課	本庁舎4F南	54-8194	10・11・12・1・2月のみ可		
	7	まちづくりを知ろう、始めよう!(土地利用のお話)	60				4・6・9・10・12・2・3月以外		
	8	道路後退で安全なまちづくりにご理解を!(道路後退用地整備事業について)	60				市街地整備・公園課	本庁舎4F北	54-8289

四日市市出前講座メニュー

(出典：四日市市 <http://www.manabouya.com/manabi/demae/index.htm>)

【事例 2-16】国土交通省の出前講座の事例

実施時期：通年実施
実施対象者：対象者を限定せず

国土交通省では、ホームページ上で、出前講座の紹介を行っている。北陸地方整備局では、防災に特化した出前講座のページを持っており、ハザードマップについてわかりやすく説明する講座を開設している。

国土交通省ホームページ 出前講座メニュー

講座名	概要	出前範囲	問い合わせ先	
			部署	TEL
奥飛騨さほう塾	神通川水系の土砂災害の歴史と、砂防事業の果たす役割について原書向「ゼネオ」及び土砂災害の内容をパネルで説明し、土砂災害模型によって、砂防施設の有無による被害の違いなどを解説する。	岐阜県飛騨地域	神通川水系砂防事務所 調査課	0578-2-1220
砂防全般	砂防全般とその防災対策について説明します。	新潟県、富山県、石川県、長野県(一部)、福島県(一部)、山形県(一部)、岐阜県(一部)	北陸地方整備局 河川部河川計画課	025-266-1171
下水道事業とその役割	下水道には、生活を便利にしたり、川や海へ流れ込む水をきれいにしたり、都市の水害を予防するなど、たくさんの役割があります。ふだん目に見えない下水道について、その仕組みや役割をわかりやすく説明します。	新潟県、富山県、石川県	北陸地方整備局 建設部 都市・住宅整備課	025-266-1171
油流出事故から北陸の海を守る大型波濤兼油回収船「白山」	大型波濤兼油回収船「白山」の建造の経緯や役割などを説明します。	新潟県	新潟港湾・空港整備事務所 海務課	025-222-6111
防災から維持管理作業まで現場を支える各種機械について		石川県	金沢河川国道事務所 機械課	076-264-8800
海洋環境を油流出事故から守るために～大型波濤兼油回収船「白山」～	「白山」が配備された経緯など、海洋環境に関する内容について説明します。	北陸地整管内	港湾空港部 海洋環境・海岸課	025-265-7770
信濃川の防災	光ファイバーネットワークの整備、出水時の情報収集(防災管理システム)、レーダー、巡視活動、水防活動、洪水ハザードマップ等を紹介致します。	新潟県(信濃川流域)	信濃川河川事務所 調査第一課/電気通信課	0258-32-3020
災害対策機械、建設機械について	災害対策用機械、建設用機械を紹介致します。	新潟県(信濃川流域)	信濃川河川事務所 機械課	0258-32-3020
洪水想定区域とハザードマップ	万が一洪水が起きた場合に備えて、対応(災害への準備、避難の仕方)について前もって考えておくために、洪水想定区域とハザードマップについてわかりやすく説明します。	石川県	金沢河川国道事務所 調査第一課	076-264-8800
災害対策用機械の概要	千曲川河川事務所が保有している災害対策用機械の概要を説明します。保有機械(排水ポンプ車、照明車、異形ブロック投入安全装置)	長野県	千曲川河川事務所 工務課	026-227-7611
災害時の情報連絡手段から危機管理へとつなげるために	災害時における情報・連絡手段による的確な危機管理について説明します。		千曲川河川事務所 電気通信課	026-227-7611

国土交通省ホームページ 出前講座トップページ

(出典：国土交通省 <http://www.mlit.go.jp/bosai/demae/index.htm>)

【事例 2-17】ラジオによる広報の事例

(山形県 山形市)

実施時期：出水期前に一時的に実施
実施対象者：対象者を限定せず

山形市ではテレビ、ラジオ等の番組で少しでも洪水ハザードマップを取り上げてもらうように報道機関へ何度も周知を繰り返している。その効果もあり、テレビでは何度かニュース番組の中で洪水ハザードマップを紹介しており、市民から大きな反響を得ている。

また、地元のFMラジオ局からの要請もあり、2局で“洪水避難地図の声の広報”を実施している。このため“洪水避難地図”や“洪水ハザードマップ”といった用語の認知の割合も向上している。

【事例 2-18】ラジオによる広報の事例

(三重県 四日市市)

実施時期：出水期前に定期的に実施
実施対象者：対象者を限定せず

四日市市は、コミュニティFMで年間52週間、5分間の防災番組を放送している。

平成17年度は、4月の第4週に洪水ハザードマップについて放送した。

内容は、市役所職員が洪水ハザードマップの活用方法等について説明した。

平成17年度「FMよっかいち」防災啓発番組制作・放送担当表

	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週
4月	1. 防災一般:耐震補強	2. 防災一般:風水害の備え	3. 消防(1)	4. 防災一般:ハザードマップについて		
5月	5. 水防(1)【水防月間】	6. 防災一般:地域防災計画について	7. 下水道(1)【総合治水推進週間】	8. 消防(2)	9. 土砂災(1)【土砂災害防止月間】	
6月		10. 水道(1)【水道週間】	11. 消防(3)	12. 防災一般:防災倉庫について	13. 河川防災【河川愛護月間】	
7月		14. 消防(4)	15. 防災一般:集中豪雨について	16. 消防(5)	17. 水防(2)【水の週間】	
8月	18. 消防(6)	19. 道路防災(1)【道路ふれあい月間】	20. 消防(7)	21. 建築防災:防災週間について	22. 防災一般(7): 防災訓練について	
9月		23. 消防(8)【救急の日】	24. 下水道(2)【全国下水道促進デー】	25. 水防(3): 台風災害について	26. 土砂災(2) ※9.21水害より1年	
10月		27. 防災一般(8)	28. 水防(4)	29. 消防(9)	30. 防災一般(9)	31. 防災一般(10)
11月		32. 消防(10)【秋の火災予防週間】	33. 防災一般(11)	34. 防災一般(12)	35. 消防(11)	
12月		36. 防災一般(13)	37. 消防(12)	38. 防災一般(14)	39. 消防(13)	
1月	40. 防災一般(15)	41. 水道(2) ※凍結対策	42. 防災一般(16)ボランティア週間	43. 消防(14)【文化財防火週間】	44. 道路防災(2) ※路面凍結注意	
2月		45. 消防(15)	46. 防災一般(17)	46. 消防(16)	48. 建築防災(2)	
3月		49. 消防(17)	50. 防災一般(18)	51. 消防(18)	52. 防災一般(19)	

(出典：FMよっかいち)